

世界そしてアジアの将来を考えるHAELE-13： 講演会 東京大学総合文化研究科 准教授 速水淑子 「世界社会の立憲化構想」 (仮題)



天正年間古地図 (香川県香西町役場『香西史』香川新報社、1930年、所収)

2024/11/11

参加登録は下記にてお願い致します。ZoomのURLをお知らせ致します。
<https://forms.office.com/r/GFqQ2SsTNc>

14時～16時：Zoom ハイフレックス (高松会場：香川大学) (詳細は村山までお問い合わせください。)

HAELEでは、これまで、ローカルな経済を環境史的に考えると謳いつつ、経済だけではない様々な分野の学史・思想史との連携を模索して来たのですが、まだ本格的に始動していない状況です。いつも身近な小さな会合です。

マルクス&ウェーバー論も、それぞれの分野で新たな動きがあるものの、両者を関連づけるような議論はもはや展開できない状況かもしれません。とはいえ、改めて、長期の19世紀を環境史的に再考する上では、ハーバーマスの「世界社会の立憲化構想」は、戦後のドイツと日本を考える上でも、また、現在の世界の紛争そしてすでに極端気象時代に突入している現在を考える上で、不可欠な議論だと考えています。

さらに、EUでも難しい憲法論を、アジア環境史協会 (<https://www.icedds.net/aaeh/>) の今後を考える立場として、アジアの「環境」憲法論を標榜して、人間以外の動植物の権利も組み込むような議論を夢想している身としては、速水淑子氏の「J. ハーバーマスにおける世界社会の立憲化構想—人権・デモクラシー・連帯—」European Studies, Vol. 23 (2024), 43-58 は非常に重要な論考だと考えています。その紹介をして頂けます。

当該の専門分野以外の方々、学生、また、フィールドワークを中心に研究を進められて来たの方々など、どうぞ気楽にご参加ください。

本研究会は、科研B(20H01523)/同(23H01661); JSPS Core-to-Core Program; JSPS/MESS Bilateral Programの支援を受けています。

問い合わせ先：村山聡, 香川大学名誉教授 Living Spaces Project, ICEDS, Kagawa University
Email: [murayama.satoshi\[at\]kagawa-u.ac.jp](mailto:murayama.satoshi[at]kagawa-u.ac.jp)